

天気に恵まれ、存分に発揮された赤小魂！

6月10日（土）に運動会を実施しました。前日の雨のおかげで校庭の土がしっかりと落ち着き、大変恵まれた天候の中、開催することができました。白組団長中村朔也さん、紅組団長梨木子義さんは、練習の時から全校の児童をリードし、全体の雰囲気盛り上げてくれました。それに応えて、どの学年の児童も「あきらめず みせつけろ 赤小魂！」のスローガンどおり、最後まで精一杯競技してくれました。どの子ども、勝利を目指して取り組みましたが、希望通りにならなくてもあきらめない姿に赤小魂を感じました。

また、保存会の皆様にも共演していただき、4年ぶりに全校駒踊りを披露しました。会場の皆様から大きな声援をいただき、子供たちの表情から充実感を感じました。

最後までどちらが勝つかわからない好勝負もさることながら、負けても相手を讃える態度、次こそはと切り替えて臨もうとする前向きさ、競技をスムーズに実施するために手際よく働いてくれた係活動。練習から見守ってきた教職員にとっては、行事を通して子供たちがそれぞれ大きな成長を遂げたことを感じる大運動会でした。もちろん保護者の皆様、地域の皆様の大きな声援や拍手が子供たちのパワーの源となったことは間違いありません。今後とも子供たちの成長のためにご支援をよろしくお願いいたします。

（※写真は諸事情により、当日のものと予行のものとが混在しております。ご了承ください。）



開会式 堂々と入場行進



1年生 元気に開会宣言



両団長の気合のこもったエール



保存会の皆様の雄姿



大迫力のタイヤウォーズ



最後まで息をのんだアンカー勝負

運動会での迷惑駐車0?交通安全 母の会の皆様のおかげです!

毎年、駐車場の不便さではご迷惑をおかけしていますが、今年度は新しい試みとして交通安全母の会の皆様が駐車場の誘導係を引き受けてくださいました。その結果、苦情電話は「0」でした。保護者の皆様のマナーの向上と交通安全母の会の皆様の自主的な奉仕活動に大感謝です。



町陸上記録会での大活躍 輝いていたのは「打ち込める心」でした



選手宣誓をする川田秋桜さん

6月23日(金)、町の陸上記録会が開催されました。天気予報のとおり、当日は時折小雨の降る天候でしたが、幸い競技続行が不可能なほど大雨にはならず、最後のリレー種目まで実施することができました。

競技の記録等は別に発信する予定ですが、私が見ていて感心したのは、子供たちが練習に主体的に取り組む姿でした。昼休みなど時間をみつけて、リレーのバトンパスやジャベリックボール投げなどの練習に取り組む姿が見られました。中でも驚いたのは、一人で砂場をならし、助走のスタート場所から跳躍に取り組む幅跳び選手の姿です。跳んでは砂場をならし、また跳んでは砂場をならし、私が見ているだけでも3~4回はそれをだまって繰り返していました。私は思わず、何か力になってあげたいと思い、校庭に飛び出しました。聞くと、他の種目もあるので踏切の練習があまりできておらず、その不安を少しでも減らそうと自主的に練習しているようでした。

プロの陸上の選手になりたいとか、絶対1位になりたいとか思っていたかどうかはわかりませんが、何かに挑戦しようと決めた後、それに一生懸命打ち込める心に感動しました。本番の記録は本人が納得したものになったのかは確認していませんが、この練習の様子だけで、この子に大きな成長があったことは疑いようがありません。

子供たちはいろいろな体験の中で、自分が好きなことや一生懸命取り組めることに出合う可能性があります。学校生活ではそのきっかけになるようなことが数多く体験できるよう、様々な教育活動が行われているととてもよいと思います。



読み聞かせ&水泳教室も始まりました



コロナ禍で実施できずにいた読み聞かせが、6月15日から再開されました。読み聞かせボランティアの方々がほぼ毎週2つの学年を対象に本を読んでくださっています。子供たちはどんなお話が聞けるのか目をキラキラさせながら、心待ちにしているようです。

町民プールでの水泳教室も行われています。年に1度しか実施できませんが、水に慣れたり、水泳に興味を持ったりすることで、これから夏休みにかけてもプールに出かけて水に親しんでくれたらと願っています。水泳を習得しやすいのは小学生の時期です。中学生では体育の授業で水泳は必修ではないので、小学生の時の水に親しむ活動はとても貴重なものになります。「町内に室内プールがあって、子供たちは無料で利用できる」という恵まれた環境を大いに活用できたらいいですね。